

香川県プランクトン情報（第48報）

令和3年11月18日発行

11月18日にプランクトン調査(播磨灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】（調査事業名：貝毒プランクトン調査）

- ・貝毒の原因となる有毒プランクトンの出現は確認されませんでした。
- ・魚毒性を示す有害プランクトン、シャットネラ オバータが確認されました。
最高細胞密度は0.2細胞/mL(定点KA4)です。
- ・珪藻類は、主にコシノディスカス ワイレシーが全調査点で確認されました。
最高細胞密度は3250細胞/L(定点KA5)です。
- ・播磨灘沖合の表層水温は約19～20℃、表層塩分は約31～32の範囲で推移しています。

表：2021年11月18日 プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	旧アレキサン ドリウム・タマ レンセ	旧アレキサン ドリウム・カテ ネラ	アレキサン ドリウム属	シャットネラ・ オバータ	カレニア・ ミキモイ	ココロディニウム・ ポリクリコイデス	コシノディスカス・ ワイレシー (cells/L)	ユーカンピア・ ゾディアクス
KA1	0	0	0	0	0	0	0	1600	0
	10	0	0	0	0	0	0	2150	0
KA2	0	0	0	0	0	0	0	2000	0
	10	0	0	0	0	0	0	1750	0
KA3	0	0	0	0	0.10	0	0	150	0
	10	0	0	0	0	0	0	350	0
KA4	0	0	0	0	0.20	0	0	1650	0
	10	0	0	0	0	0	0	800	0
KA5	0	0	0	0	0	0	0	3250	0
	10	0	0	0	0	0	0	2550	0
KA6	0	0	0	0	0	0	0	600	0
	10	0	0	0	0	0	0	1950	0
KA7	0	0	0	0	0	0	0	1250	0
	10	0	0	0	0	0	0	1350	0
K1	0	0	0	0	0	0	0	250	0
	10	0	0	0	0	0	0	1050	0
K2	0	0	0	0	0	0	0	1400	0
	10	0	0	0	0	0	0	350	0
K4	0	0	0	0	0	0	0	900	0
	10	0	0	0	0	0	0	650	0
T3	0	0	0	0	0	0	0	1550	0
	10	0	0	0	0	0	0	2200	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0	0	100	0
	10	0	0	0	0	0	0	850	0

* 試水は200mLを10mLに濃縮して、そのうち1mL中のプランクトンを計数しています(20倍濃縮)。

* コシノディスカスについては1Lあたりの細胞密度を記載しています。

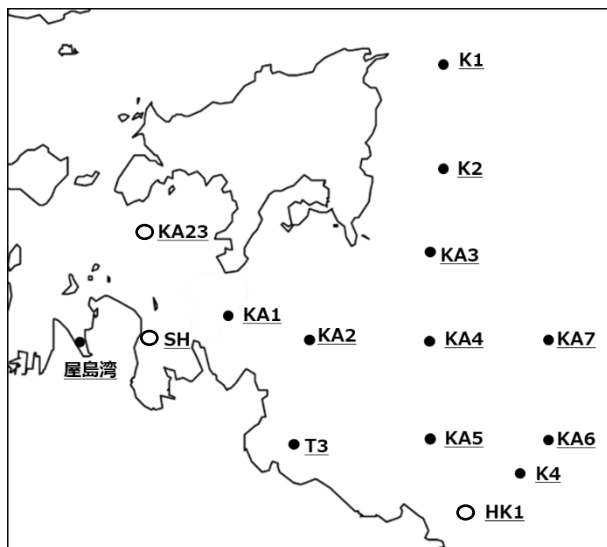
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:藤田・和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：貝毒プランクトン調査）



* 貝毒プランクトン調査は合計 12 定点(KA1～7、K1、2、4、T3、屋島湾)で行っています。

【参考】表：香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL